

人が残り、地域が残る歯舞酪農の確立

(根室市)

1 課題の背景*****

歯舞地域は牛舎施設の老朽化が進んでいるため、若手経営者や後継者を中心に施設投資への意欲が高まっています。そのため、規模拡大にあたり後継牛の確保と労働負担軽減、疾病減少などによる生産効率の向上が地域から求められています。(対象酪農家9戸)

2 活動の経過*****

(1)後継牛確保の取り組み

ア FAXでの情報提供と地域の優良農場を視察

FAX「歯舞限定情報」

昨年自作されたカーペン

昨年カーペンを自作した地域の農場の事例をFAX「歯舞限定情報」で地域にお知らせし、それをきっかけに若手経営者夫婦が、ほ育牛の寒冷対策を学ぶための視察を企画。

イ 乾乳牛研修会

元気な子牛を産ませるための乾乳期管理技術を提案。

ウ 育成牛作業立会

アモニ7濃度を測定

育成牛の配合給餌量を実測

育成牛の粗飼料給餌量・配合給餌量・衛生状況・環境状況を確認し、農場へ改善案を提示。

(2)生産効率向上への取り組み

ア 牛舎の建設を検討

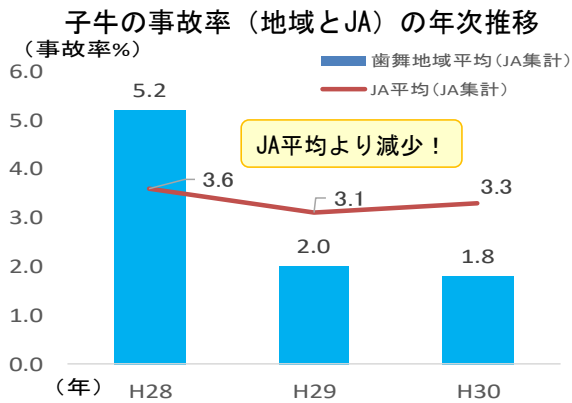
優良農場を視察し家族内でも牛舎建設について話し合えある場を提供。

イ 農場支援組織で検討会議

J A、N O S A I と農場の課題（乳質・疾病・経営）を共有して、農場へ改善提案。

3 活動の成果*****

(1) 後継牛確保の取り組み



ほ育牛の寒さ対策、栄養管理、器具の衛生管理の改善などに取り組まれた結果、地域の事故率は5.2% (H28) から1.8% (H30) に減少しました。



地域のほ育牛の管理方法が共有（FAX情報、視察）され、優良農場を参考にカーフペンを自作し効果を実感されています。

イ 乾乳牛の栄養改善



乾乳管理に取り組んで分娩後の疾病が減って楽になったよ！

C 農場経営者

月	H29				H30											
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
発生頭数	1	3	3	3	4	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	
取組前後	取組前							取組開始	取組後							
取組内容								分娩20日前までのカルシウム飼料の飽食								

乾乳前期までにカルシウムを充足させることで、分娩後の低カルシウム血症（乳熱）の発生が減少しました。

カルシウム飼料の飽食



ウ 育成牛の栄養改善



配合実測量	実測後は想定量に改善
0.75kg	1.5kg

育成牛の作業立会で配合の給与量を計量した結果、想定量の半分しかなかった事が判明！想定量1.5kgを給与することができました。

(2) 生産効率向上への取り組み

ア 牛舎建設の具体化



家族の意見を取り入れて、施設投資スケジュールや作業効率を考慮したレイアウトを考えることができたよ！

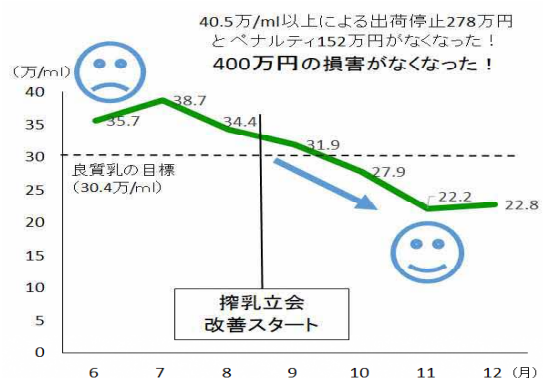
F 農場若手経営者

乳質が改善できたので、今後は、ほ育・育成・乾乳牛舎を建設して、労働力不足に対応していきたい！



A 農場若手経営者

イ 乳質改善（体細胞数が36.3万/ml→24.3万/mlに改善）



搾乳立会をきっかけに若手経営者がやる気を出し乳質が改善されました。

4 今後の活動*****

持続可能な歯舞酪農を確立するために、丈夫な後継牛確保と施設建設及び飼養環境改善による地域生産乳量の向上を目指し支援を継続していきます！